

令和5年度「定時総会」開催

去る5月29日(月)、ホテル東日本宇都宮において令和5年度定時総会が開催されました。

本年においては、4年ぶりにコロナウイルス感染症発生以前の形で、「定時総会」を開催いたしました。表彰式につきましても、従来どおりの形で実施することができました。これは、ひとえに皆様の御理解と御協力の賜物であり、お陰様をもちまして、無事に定時総会を終了することができました。

当日の会場には、定款に定める定足数を大きく上回る委任状による者を含む326名の会員の参加をいただくことができ、総会は無事成立いたしました。

冒頭のあいさつで、谷黒会長は物価高騰や円安、切迫する大地震、担い手不足などの建設業の課題を挙げました。そのうえで、直面する課題に的確に対応し地域建設業の社会的使命を果たすため、新しい課題に対する構造改革を推進することとし、公共事業予算の確保や受注機会の拡大に努めるとともに、真に会員のためになる協会事業の推進に取り組んで参りたいと活動の抱負を述べました。

次に一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達を行い、受賞された14名を代表して機械建設榎宇賀神勝様が表彰状を会長から受け取りました。続いて一般社団法人栃木県建設業協会会長表彰を行い、長年にわたり業務に精励されました109名を代表して勤続20年表彰者の小平興業(株)石川修平様が表彰状を会長から受け取りました。

本年の総会には多数の来賓をお招きいたしました。最初に祝辞をいただいた福田富一知事からは、インフラの整備と維持管理、災害対応に地域の守り手として活躍してくれていることに心から感謝するとの言葉をいただきました。

佐藤良県会議長からは、激甚化、頻発化する自然災害に対して災害時における応急復旧、災害復興など地域の守り手として、地域の安全安心のために御支援いただいております誠に心強いものであるとの言葉をいただきました。

さらに、顧問である佐藤勉衆議院議員および五十嵐清衆議院議員から国会での御活躍の御様子を中心に大変貴重なお話をいただきました。また、出席のかなわなかった佐藤信秋参議院議員、足立敏之参議院議員および奥村英輝栃木労働局長からはお祝いのメッセージをいただきました。

その後、議事に入り、「令和4年度事業報告・収支決算報告」が原案どおり承認されました。続いて理事会承認事項となっている「令和5年度事業計画・収支予算」の中で、時間外労働の罰則付き上限規制の適用や建設キャリアアップシステム(CCUS)に関する講習会、説明会を開くことが報告されました。また、道路や河川の維持管理業務の共同受注を拡充するため、関係機関との協議や運用改善の取り組みを進めることが報告されました。

また、同日、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が、5月31日には栃木県建設産業団体連合会、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会、栃木県森林土木建設業協会および全中建栃木の総会が開催され、それぞれ令和5年度の事業計画・予算案等の案件が承認されました。



令和5年度 総会の様子